

プロジェクト ASAF 対応

項目 2014年3月のASAF会議への対応

2014年3月のASAF会議で想定される議題

1. 2014年3月に開催されるASAF会議における議題は以下とされる見込みである。

| 議題 | 時間 |
|----------------------------|--------|
| 概念フレームワーク | |
| 複雑性 (EFRAG) | 0.5 時間 |
| 財務業績計算書での表示の改訂モデル (FASB) | 1 時間 |
| 公開草案に向けた戦略 (セクション 5, 6, 8) | 1.5 時間 |
| リース | 2 時間 |
| 開示に関する取組み | 2 時間 |
| 保険 | 1.5 時間 |
| 料金規制 | 1 時間 |
| 各国基準設定主体との協働 | 1 時間 |
| プロジェクトの状況 (リサーチ活動を含む) | 1 時間 |

2014年3月のASAF会議への対応

2. 概念フレームワークの財務業績計算書での表示の改訂モデルについては、FASB のリンズマイヤー理事により作成されたペーパーに基づいて議論を行うものであり、OCI や測定に関する検討を含む内容であるため、本委員会において審議を行う。また、概念フレームワークの公開草案に向けた戦略については、今後のASBJの意見発信に強く関連する可能性があるため、本委員会において審議を行う。なお、EFRAGからの説明が予定されている複雑性については、ASAF会議で多くの時間が割かれていないため、本委員会では取り上げないこととする。
3. リースについては、再公開草案へのコメントを受けてIASBが検討している貸手及び借手のリース会計モデルやリース要素と非リース要素の区分などを議論するものであり、その内容の重要性から、本委員会において審議を行う。
4. 開示に関する取組みについては、我が国の市場関係者の関心が高いプロジェクトであるため、本委員会において審議を行う。
5. 保険及び料金規制については、直近のIASBにおける検討状況に関する議論が中心であり、時間の関係上、本委員会では取り上げないこととする。
6. 各国基準設定主体との協働については、テクニカルな議論ではないと考えられる

ため、本委員会では取り上げないこととする。

7. プロジェクトの状況については、EFARG が IAS 第 28 号「持分法（その他の純資産の変動に関する持分）」の修正案に対して議論することを要請している。時間の関係上、本委員会では取り上げないこととする。

以 上